

スタートアップで北陸を盛り上げていくために ～ 初の試み、特別対談を開催 ～

北陸情報通信協議会（会長 金井豊 北陸経済連合会会長）は、当協議会初の試みとして、令和6年4月24日（水）、総務省北陸総合通信局（局長 菱田光洋）との共催で「スタートアップで北陸を盛り上げていくために」をテーマに特別対談を開催し、110名が参加しました。

対談は、一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会副会長でスタートアップに積極的な投資を行うB Dash Ventures株式会社（東京都港区）代表取締役 渡辺洋行 氏と2003年にアプリ開発会社としてスタート、モバイルを中心としたソフトウェアの企画・開発を手掛け、一昨年東京証券取引所グロース市場に上場した株式会社jig.jp（福井県鯖江市）代表取締役社長 福野泰介氏の2氏によるもので、菱田局長（北陸情報通信協議会顧問）がモデレーターを務めました。



熱い思いを語る渡辺氏(左)と福野氏(右)



特別対談の様相

菱田局長からの「スタートアップの成功者の特徴は？」の投げかけに、渡辺氏は「最後までやりきり、突き抜ける人」「スタートアップには息の長い努力をし続けることが重要」と語り、福野氏は「変な人であり続け！そんな変な人に変な人が集まり、わくわくして仕事ができる」とこれまでの歩みを振り返りました。そして「そんな変な人にも北陸の人は優しく、スタートアップを盛り上げられる」と地元への思いを語りました。

また、菱田局長からは、北陸地域のスタートアップ企業を訪問した事例の紹介があり「北陸地域でも優良事例はある。地域に根付いて欲しい」と期待を述べました。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震にも触れ「被災地の復旧・復興に向けたスタートアップの可能性もある。能登半島地震もチャンスに変え、ともに盛り上げたい」と対談は結ばれました。

会場からは、共感する声があり、地域の機運の盛り上がりを期待させる対談となりました。